



新しい年を迎えました

明けましておめでとうございます。日々忙しくしていても、気がつくときの過ぎるのは早いもので、冬休みも終わり学校が再開しました。昨年末の朝礼で子どもたちに、年末には家族の一員として大掃除の手伝いなどが出来るといいねと話しました。折角の冬休み、遊びたい気持ちもあるでしょうが、少し我慢して家族の共同作業の時間が持てるといいねと話したのですが、いかがだったでしょうか。

新年を迎え、子どもたちも新しい気持ちで今年度の残り3ヶ月を過ごすことになります。例年この3ヶ月は本当に早く過ぎていきます。特に6年生にとっては、3月14日の卒業式まで実質2ヶ月しかありません。中学校に向けて一回り成長した姿で卒業を迎えられるように、一日一日を過ごしてほしいものです。

実は、今年の今頃もコロナウイルス感染が拡大しており、かなり気を張っていました。加えて、豪雪に見舞われ社会生活が大混乱しました。今年の年明けは、雪は落ち着いていますが、ここにきてオミクロン株の感染が拡大してきています。オミクロン株は感染力が非常に強いので、子どもたちや教職員への感染も十分考えられる状況だと思えます。実際、1/10の緊急メールでお知らせしたとおり、教職員の感染も判明しました。夏休み明けの学校だよりもお願いしましたが、感染者が出た場合でも、電話での問い合わせを控えることや人権に十分配慮した落ち着いた対応をとることを是非お願いします。

器械運動校内発表会 12/16

器械運動校内発表会が開かれました。体育の時間に各学年がマットや跳び箱、鉄棒などの学習をします。かつては近隣の学校が集まり互いに交流する交歓会が行われていましたが、近年は校内での発表会までになりました。今年も、6年生が練習の成果を発表してくれました。

予行の時と本番の2回、下級生の観客を入れての演技発表を行いました。11～12月の体育の時間に練習してきたので、自信を持って演技していましたが、やはり観客がいると緊張するものです。こういう緊張感の中で何かをする経験は、大切な経験です。これからの人生の中でも何度かはこんな緊張感を味わうはずです。どうか負けずに向かって行ってほしいと思います。



1,2年生 おもちゃフェスティバル 12/17

恒例のおもちゃフェスティバルが開催されました。それまでの準備の様子を見ていて、私も当日を楽しみにしていました。残念ながら出張があり参加できませんでした。1年生が楽しく遊べるように2年生が手作りゲームをつくり、張り切ってお店の切り盛りをしました。以下は1年生の感想の中からです。

「楽しいお店をつくってくれてありがとう」「ルールがわかりやすかったです」「2年生になったらやるのが分かったのでがんばりたい」廊下の掲示板には、1年生から2年生に向けてたくさんのありがとうのメッセージが並んでいました。



人権週間 いじめについて考える

どこでも いじめゼロ 宣言

わたしたちはいじめをぜったいにゆるしません。
一人ひとりちがっていて当たり前
だから、自分のことを話して伝えよう
相手のことを聞いて知ろう
そして、寄りそい合おう

わたしたちはいじめをぜったいにゆるしません。
だから、**あおりや暴力**をしない。
問題がおこったら話し合い
で解決する。

12月に人権週間がありました。私は、日頃から「自分がされて嫌なことは決して人にはしない」と子どもたちに話しています。他人の人権を踏みにじるような言動は決して許されるものではありません。大人も子どもも同じです。

今回、低学年は人権の標語をつくり、高学年はどこでもいじめゼロ宣言を考えました。教室で話し合くと、子どもなりの感性でとてもステキなことを考えます。あとは一人一人が正しく行動することです。

じんけん ひょうご

えがおが
クラスのみんが
だいじだよ

せめないで
みんなえがおで
おもしろいやり

11月に、保護者の皆さんからいじめに関してのご意見をいただく機会がありました。少し長くなりますが、その時のご意見からいくつか紹介します。

- ・いじめた側、いじめられた側両方の話をしっかり聞き、一方的に決めつけたり責めたりせず、わだかまりが残らないように和解するように導いて欲しいです。
- ・いじめは小さなことから始まると思うので、見逃さずに対応していただけたらと思います。
- ・小学生でもスマホを持つ子が増えているので、LINEでのいじめが始まるのでは…と心配です。いじめの内容も昔とは変わってきているので、今の時代に合った指導や、子どもたちと一緒に考える機会をつくっていただけたらと思います。
- ・ささいな変化などお気づきの点が少しでもありましたら教えていただきたいです。学校・家庭一丸となって子どもたちを守っていける木田小であって欲しいと願っています。
- ・いじめられている側だけではなく、いじている側の心のケアが大切だと思います。何か心の中に、もやもやとしたものを抱えていたり、家庭での悩みがいじめにつながる可能性があると思います。

一つ一つのご意見がなるほどだと思います。我々教職員も気を付けていますが、全てを把握することはかなり難しいのが現実です。ご意見にあるように子どもたちの小さな変化に気づいたら、互いに情報交換しながら子どもたちを見守っていきましょう。

給食について

1食 252円で子どもたちは給食を食べています。通常は、ご飯に汁物、おかずに牛乳というメニューです。育ち盛りの子どものための栄養バランス満点の食事が、たったこれだけの保護者負担で食べることが出来ます。本当にありがたいです。

しかし、どれほどの子どもがこのありがたみを分かっているのでしょうか。実は、かなりの残食が出ています。いわゆる食べ残しです。SDGsについて考えている5年生が、横山栄養教諭とともに調査しました。12月に校内放送でその結果を紹介し、給食を残さず食べようと呼びかけました。11月(19日間)1ヶ月分の残食は、主食(ご飯・パン)58.2kg おかず 87kg 牛乳 198本でした。欠席等もありやむを得ない場合も有りますが、残念な結果です。

子どもたちの心が解放されているクラスは、給食を残さずしっかり食べる傾向があります。つくった人への感謝の気持ちも忘れません。無理してでも食べようというつもりはありませんが、本当は食べたいのに、食べられるのに残すような子どもに育てたくないだけなのです。成長期に十分な栄養をとることは、その後の心身の発達に必要不可欠です。

子どもたちの心が解放されているクラスは、給食を残さずしっかり食べる傾向があります。つくった人への感謝の気持ちも忘れません。無理してでも食べようというつもりはありませんが、本当は食べたいのに、食べられるのに残すような子どもに育てたくないだけなのです。成長期に十分な栄養をとることは、その後の心身の発達に必要不可欠です。

※お願い※ 今後、自主的にPCR検査を受けた場合は、速やかに学校にご連絡願います。自主的な検査は市保健所に情報が入らないのでご協力願います。

